

Minami Kyushu University Syllabus									
シラバス年度	2023年度	開講キャンパス	都城キャンパス	開設学科	環境園芸学科				
科目名称	都市計画論				授業形態	講義			
科目コード	236700	単位数	2単位	配当学年	3	実務経験教員	○	アクティブラーニング	○
担当教員名	平岡 直樹							ICT活用	○
授業概要	<p>本授業の目的は、都市計画とはどのようなものかを把握するための基本的内容を理解することである。単なる技術論ではなく、都市の美醜、快適さ、存在価値など、個人と都市のかかわりを視点として、評価する眼を養うことを目指す。また造園と都市計画のかかわりも考える。日本の都市のみを対象とするのではなく、広く世界の都市を見渡し、国際的な視野で学ぶ。建設コンサルタント（都市計画及び地方計画部門）にて実務経験を有する教員が、都市計画関連業務の実例について、写真や図版を用いながら解説する。</p>								
関連する科目	造園学概論、世界の庭園と歴史、自然緑地計画論、景観論を事前に、都市緑地論、建築学概論を同時に受講することが望まれる。								
授業の方法と進め方	<p>毎回の授業にて、前回の授業の重要と考えられる項目についての小テストを行う。小テストの回答は次回の授業の冒頭に行う。小テストに備えて授業の後でしっかりと復習をしておいて欲しい。小テストでは、都市や都市計画に関連する雑学クイズも合わせて出題する。採点の対象とはしないが、都市や都市計画の理解や知識を深めるきっかけとして欲しい。授業は、都市計画の基本理念を講義するとともに、造園分野に關係の深い事柄について示す。また、理解を容易にするために写真や図版をなるべく多く提示する。自分自身でも日常の都市生活の中で類似の事例に出会った時の参考となると考える。</p>								
授業計画【第1回】	<p>ガイダンス 授業の概要や進め方を示したのち、参考文献を紹介する。</p>								
授業計画【第2回】	<p>都市とは 都市とはどのようなものか、その成り立ちから変遷を学ぶ。</p>								
授業計画【第3回】	<p>都市計画とは 都市デザインとの違いや法律のもとで運用されていることなどを学ぶ。</p>								
授業計画【第4回】	<p>都市基本計画 都市計画マスタープランを中心に学ぶ。</p>								
授業計画【第5回】	<p>土地利用計画 都市の合理的な利用に不可欠な土地利用の様々な概念や制度を学ぶ。</p>								
授業計画【第6回】	<p>都市交通計画 徒歩から自動車、列車など都市活動に不可欠な交通について学ぶ。</p>								
授業計画【第7回】	<p>都市環境と公園緑地計画 都市の快適な環境を支えるみどりの機能を学ぶ。</p>								
授業計画【第8回】	<p>住宅・住環境の計画 都市の中で最も大きな面積を占める場合が多い居住環境について学ぶ。</p>								
授業計画【第9回】	<p>都市施設の計画 ライフラインや諸施設など都市活動を支える都市施設について学ぶ。</p>								
授業計画【第10回】	<p>都市環境の計画 都市活動を快適なものとするためにはどのように環境を保全すべきか学ぶ。</p>								
授業計画【第11回】	<p>都市の防災計画 都市生活を安全に継続するためにどのような施策や対策が取られているか学ぶ。</p>								

授業計画 【第12回】	都市の景観計画 快適で美しい都市環境を想像し保全していくための取り組みを学ぶ。
授業計画 【第13回】	参加と協働のまちづくり 豊かな都市環境創造のために市民と行政の連携がどのように進展してきたかを学ぶ。
授業計画 【第14回】	都市の再生 都市のリニューアルの必要性やその手法について学ぶ。
授業計画 【第15回】	身近な都市計画 都城市都市計画課に講座を依頼し、アクティブラーニング型のワークショップを行う。
授業の到達目標	1) 都市や都市計画について体系的に学び、都市とはどんなものか、都市計画とはなぜ必要で、どのように行われるのかを身につけます。【専門分野の知識・理解】 2) 都市計画にかかわる専門職業人として必要な基礎的知識や技術を学び、持続可能な循環型社会の実現に向けた課題発見と問題解決をはかる手がかりを身につけます。【専門分野のスキル】【課題発見・分析・解決力】【実践力】
学位授与の方針 (DP)との関連	1. 知識・理解を応用し活用する能力-(1)／1. 知識・理解を応用し活用する能力-(2)／2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(1)／2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(2)
授業時間外の学習 【予習】	第1回目の授業で示す参考図書など都市や都市計画に関する資料を授業前に読んでおく。 また、自らの都市や都市計画に関する知識を深め、都市計画の社会的役割を理解するため、現在住んでいる都市や出身地の都市などに赴き、その構造や社会的位置づけなどについて観察し考察を深めておく。(平均約1時間)
授業時間外の学習 【復習】	第1回目の授業で示す参考図書など都市や都市計画に関する資料について、授業後に理解が曖昧な時は再度精読して確認しておく。次回授業の小テストに備えて配布資料等を用いて復習しておく。(約1時間)
課題に対する フィードバック	小テストは、採点后に返却し、次回の授業にて解説をする。レポートは原則として採点后に返却する。必要がある時はコメントをする。 定期試験は試験後に解説を行う。
評価方法・基準	以下の項目に基づいて評価する。 1) 小テスト及びレポート20点 2) 定期試験80点
テキスト	授業中において配布する資料及び紹介又は指示する書籍
参考書	第1回目の授業(ガイダンス)において紹介する。主なものの一部を以下に示す。 ①五十畑弘著『図説入門よくわかる最新都市計画の基本と仕組み』秀和システム、2020年 ②伊達美徳編著『初めて学ぶ都市計画』市ヶ谷出版社、2008年 ③川上光彦『都市計画』森北出版、2008年 ④森山、平岡他『ランドスケープアーキテクチャーの起点』ぎょうせい、2007年
備考	